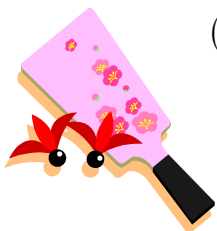


ほ ほ え み

桐生厚生総合病院

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
電話番号 0277-44-7171(代) FAX 0277-44-7170
URL <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

(編集 院外広報編集委員会)



新年によせて

院長 まる丸 た田 さかえ栄

新年明けましておめでとうございます。

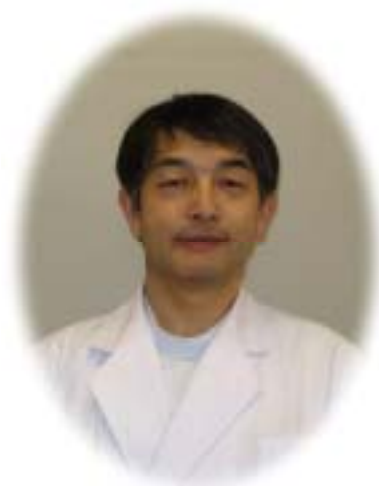
桐生厚生総合病院の患者さん、職員の皆さん誰にとっても、今年が平安で大きな災いもない、すばらしい一層の飛躍の年になりますように、明るい日々の笑顔で過ごせますように祈念しています。

これまで、毎年の医療の在り様は、期待する新年の思いに逆らうように、行政指導の方向が、いつもいつも医療側一患者側双方にとって困難な問題をはらんでいました。そして、私たちの認識が甘いのか、十分な地域での理解も無いままに進む医療制度の変革は、弱い立場の人たちへの配慮が不十分ではないだろうかと感じていました。その環境下でも、当院は地域医療を下支えする病院として、地域に密着した開業の先生方や他の病院の先生方とも連携を取って行く姿勢を基本に、自らに課した医療分担を担って来たと思います。そして、普段から地域基幹病院を職場とする私たちは、地域医療に奉仕することを職命とし、しっかりした信頼で地域に受け入れられているばかりではありませんが、期待される診療での活躍は決して小さなものではなく、年々進歩する医療の恩恵を地域に還元する気概を持って、多く地域の先生方と共同で、今後も医療の質の向上に応えて行く努力をしたいと思います。このためにも、“医療は病める人たちのために”と気持ちを一つにして当院のまとまった大きな力を地域医療の発展に向けて、進みたいと思います。今年新たに迎えるであろう新人たちにも、これらの思いを、地域に理解される医療を、継承されるよう計りたいと思います。

思い返せば、昨年は大きな行事が重なり、また地域病院が抱える医師不足の問題を経験し、とても平常な機能の病院ではあり得なかった一年でした。また、そのために大きな経営上の課題を抱えた難しい年になってしまいました。個人的には多くの人たちから激励と声援をいただき、当院に掛ける熱い思いに励まされ、今年こそは何とかしたい、せめて改善へ向けての道筋だけでも示したいとの強い気持ちが沸いて来て、とても感謝しております。

これからも、いつも変わらず新鮮な思いで迎える新年に期待して、これからの一年が、変革に繋がるわくわくした興奮に似た想いで過ごせるよう頑張り年の年になりたいと思います。特に今年については、ついつい病院が変われそうな思いと期待が交錯するような気分で、落ち着かない複雑な思いが多く浮かんできます。しかし、医療は、一人一人の手作業と相互理解の協力で結果を紡いで行く特殊なサービス業でもあります。思い入れが空振りしないように、病院の皆さんと一緒に、明日に向かって、一步一步確実に進みたいと思います。

今年も宜しくお願い致します。



新病院情報システムについて

情報システム推進室

当院の基本理念であります「向学心と優しさに満ちた医療」の実現と、患者さん中心の高度で安全な医療サービスの提供を目指し、平成19年11月26日から電子カルテシステムを含む病院情報システムを導入・更新致しました。

1. 電子カルテとは

これまで紙に書かれていた診療の記録や伝票でオーダーされていた情報や結果をデジタル化して、情報のやり取りや保存を行うことです。簡単に言えば、コンピュータに、カルテの記載や情報の収集、体温や血圧などの患者さんの治療に係る情報を入力し、紙に書かなくなることです。

情報をデジタル化することは多くの利点があります。例えば、患者さんの治療に必要な情報を院内各部署で見ることができます。診察室だけでなく、検査室や放射線室でも必要な時にはいつでも情報を見ることができるため、的確な診断につながります。この他、外来診察後など患者さんの治療についての診療科の医師と相談する場合にも、院内の端末から必要に応じて複数の医療従事者が同時に1人の患者さんのカルテを開くことができます。この診療情報の共有は、紙カルテでは行えない事であり今回電子カルテ導入の大きな利点です。

さらに、診療情報を電子的に保存・集積すると、診療情報から必要な情報を取り出すことができます。この情報を分類・集計することで、根拠に基づいた医療（EBM）や診療結果の評価などに利用でき、より良い医療が提供できるようになります。

診療のデータを分かりやすく表示し、患者さんへの説明に役立てることや、誰が情報にアクセスしたか記録が残り、データの書き換えができないことは、記録の信憑性^{しんびょうせい}につながります。

今回の導入により、患者さん・病院にとっても良い面がある電子カルテですが、コンピュータ操作が煩雑^{はんざつ}で時間がかかることが危惧^{きく}されます。

上記のことを踏まえ、当システムにより、医療安全はもちろん、患者さんにとってより良いサービスが提供できるように全職員努力してまいります。

待ち時間などで、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解・ご協力お願いいたします。

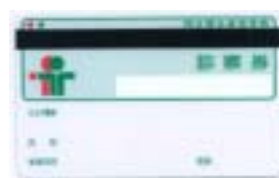
2. 受付方法（変更）



《再来受付機》

従来、予約の有る方は直接診療科へ行っていただきましたが、今後は**全ての患者さんが診察券にて自動再来受付機で受付**をしていただきます（当院初診患者さんは除く）。ただし、受診期間が2か月空きますと、保険証の確認が必要です。その際は5番初再診受付までお越しく下さい。

また、総合受付の案内表示を変更いたしました。



診察券は必ず
持ってきて
くださいね！

* 診察券の再発行は実費（¥210）をいただいております。

総合受付の配置が変更になりました。

- 交通事故相談 ⑪
- 入退院受付 ⑩
- 医療福祉相談・
紹介患者専用受付 ⑧
- 会計（精算） ⑦
- 予約・計算書・
薬引換券 ⑥

医療費自動支払機

再来受付機

③ 会計受付

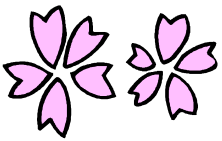
初再診受付（保険証確認・診断書）

⑤

⑥

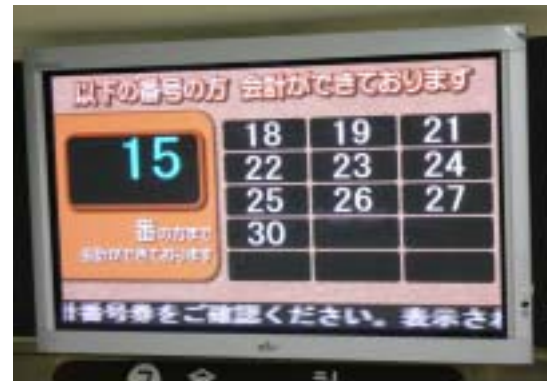
会計表示盤

正面玄関



3. 会計表示盤について

3番会計受付で「会計番号票」をお渡します。会計表示盤に会計番号が表示されましたら、お支払いの準備ができております。



《会計表示盤》

4. 医療費自動支払機について

お支払いは、医療費自動支払機で診察券を入れますとお支払い金額が表示されますのでお支払いください。

医療費自動支払機の取り扱い時間
月曜日～金曜日 9時～17時
(土曜、日曜、祝日及び
12月29日～1月3日を除く)

なお、従来の会計窓口（7番窓口）も併設しておりますのでご利用ください。



《医療費自動支払機》

5. 夜間・休日・祝日等のお会計について

お支払いのために、再度来院して頂きご迷惑をおかけいたしました。システムの更新に伴い、大部分の方が、夜間・休日・祝日等のお会計ができるようになりました。

なお、受診の際は、診察券（当院初診患者さんは除く）と保険証をご持参ください。お持ちいただかないと自費にてご負担していただくこととなります。

6. 注射薬自動払出装置について

薬剤部では、電子カルテ導入に伴い注射薬自動払出装置が稼動しました。今までは、処方せんに従い、薬剤師がひとつずつ注射薬を取り揃えていましたが、この機械には 200 種類近くの注射薬（アンプル、バイアル類）をセットすることができ、医師が入力した処方に基づいて、患者さんごとに自動的に注射薬の個人セットができるようになりました。

ただし、大きな輸液類などについては、セットすることができないため薬剤師が揃えています。この機械では、処方せん、患者名・薬剤名が書かれたラベル、注射薬のセットが同時にできるため、より安全で効率的な業務が可能になりました。

また、薬剤名が書かれたラベルにはバーコードが記載されていて、投与する際に患者さんのリストバンドと薬剤のバーコードを読み合わせることで、迅速に投与することができるようになりました。



《注射薬自動払出装置》

7. 心電図システムについて

新システムでは、心電図を電子的に管理できるようになりました。電子カルテシステムから心電図を呼び出して画面で確認できます。



8. 検査画像フィルムレス化について

電子カルテの導入と同時に、X線写真、CT、MR検査などの画像をフィルムに出力することをやめ、院内のすべての電子カルテ用のコンピュータ画面で、検査画像が表示できるようになりました。内視鏡検査、超音波検査の一部も同様の仕組みで運用しています。これにより、撮影・検査が終了後にはフィルムを持ち運んだり、取り出したりすることなく、各診療科ですぐに検査画像を参照することができるようになりました。いろいろな画像との比較もしやすくなり、よりきめ細やかな診断・治療に役立っているものと考えています。

また、検査結果の説明を受けるときも、画像を大きく表示したり、病巣部を示しやすくすることができますので、分かりやすくなったと思います。ただ、導入当初は、過去に撮影されたフィルムと新システムが混在し、操作に不慣れな事もありますので、必ずしもスピーディーというわけにはいかないかもしれませんが、ご理解とご協力のほどお願いします。

患者サービス向上委員会から結果報告とお願い

患者サービス向上委員会委員長

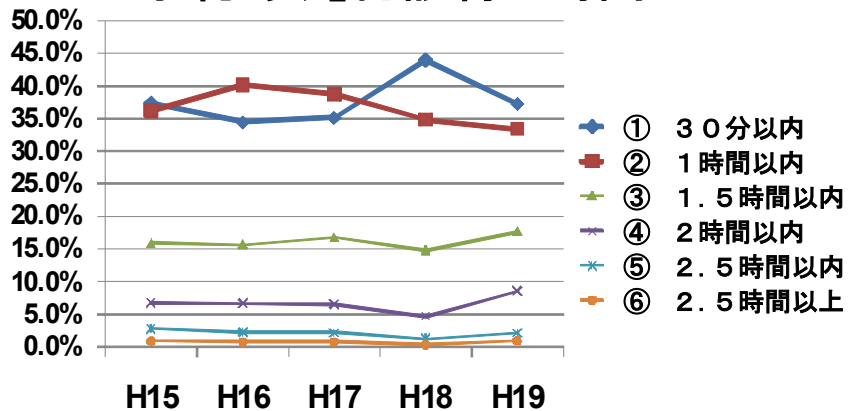
たけうち はるみつ
竹内 東光

2007年9月10日から14日において実施された外来アンケート結果についてお知らせいたします。アンケート配布数は1,230枚で、644枚の回答をいただき、回収率は52.4%でした。回答者の約半数の方は、待ち時間の短縮を希望し、20%の方は「感謝」を表明してくださっています。

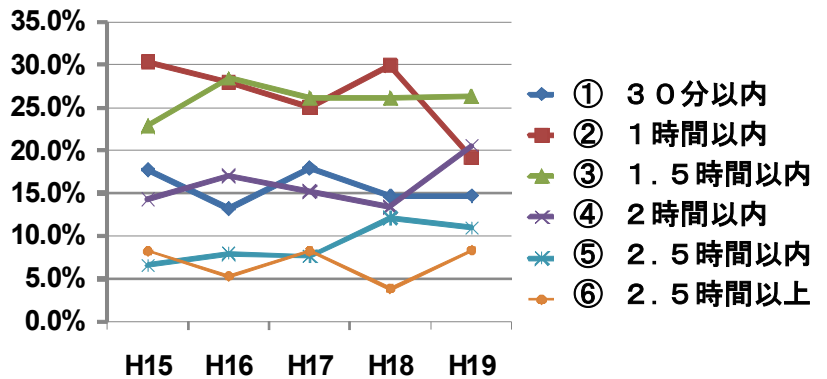
この5年間のアンケート結果からわかることとできる対策は、

1. 予約率の変化はありません（2007年度84.7%）。
2. 紹介状を持参する患者さんが減少傾向にあります（2007年度37.7%）。これからは「地域全体での連携ある医療」という視点が重要と思われれます。
3. 予約をしないと待ち時間が長くなりますので、紹介状がある場合でも予約をとってから受診してください（かかりつけの開業の先生に予約をお願いしてください）。
4. 患者さんをお呼びする声を大きくするよう務めます。

「予約あり」再診待ち時間



初診・予約なし再診待ち時間



《基本理念》

向学心と優しさに満ちた医療

《基本方針》

1. 私たちは、患者さんの人権を守り、患者さん中心の安全で優しさに満ちた医療を行うよう努めます。
2. 私たちは、日々研鑽し、患者さんに良質で高度の医療技術と医療サービスを提供するよう努めます。
3. 私たちは、地域中核病院として、他の医療機関との連携を推進し、地域医療のニーズに応えるよう努めます。
4. 私たちは、地域に密着した医療を提供し、地域住民の厚い信頼を得るよう努めます。

（※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。）